

立神中学校学校だより



立神の輝光

【校訓】 自立 不屈 進取

令和元年度

9月号

R1. 9. 11 発行

判官びいき

校長 前田 浩二

「判官びいき」とは、ご存じのように、判官（むかしの官名）であった源義経を悲劇的英雄として人々が同情したことから転じて、「力の弱い人に同情して、なんとか勝たせようと応援することやその感情のこと」です。日本人の優しい気質としてよく取り上げられ、私の中にも息づいている感情なのですが、時として人を傷つけることもあるのかもしれません。

中学校1年生の秋、私は、ある剣道大会の個人戦1年の部に出場しました。順当に勝ち進んだのですが、準決勝で負けたため、3位決定戦を行うことになりました。対戦相手は、自分よりもかなり身長の高い男子でした。やりにくそうな予感がしていたのですが、試合が始まると案の定、私の打突を受けるばかりで攻撃してきません。たまに打ってきても、すぐに防御をしたり、私に身体を寄せて打たれないようにしたりするのです。現在のルールであれば、反則を取られたのかもしれませんが、当時はまだそのようなルールはありませんでした。私もまだ技が未熟で攻めがきかず、相手の体勢を崩したり、打突を誘ったりすることができませんでした。打突の数では勝っていたものの、決め手のないまま試合は長引き、延長戦に突入しました。

その頃には周りの試合が終了し、会場で試合をしているのは、私たちだけになりました。試合当初は、対戦相手を応援する声は、相手方の関係者だけだったのですが、会場中の視線が私たちだけに注がれるようになると、様子が変わってきました。相手を応援する声がだんだん増えていくのです。さしずめ大きな男が小さな男を打ちのめしているように見えたのでしょうか。あるいは、打たれても打たれても必死に大きな男に立ち向かっていく姿に感動したのでしょうか。相手への声援は会場中に広がっていきました。試合をしながら、いつの間にか悪役レスラーのようになっている自分に気付きました。

「ぼくだって一生懸命やっているのに・・・。」

「勝ちたい気持ちは同じなのに・・・。」

自分が勝つことを期待されていないのだと思うと悲しくなりました。そして、悔しくなりました。何とかして勝ちたいと思いましたが、雑念を振り払い試合に集中できるような強い精神力を発揮することは、12歳の私にはできませんでした。萎えた心で不用意に面に跳び込んでしまい、「しまった！」と思ったときには、審判旗が上がっていました。会場中に地鳴りのような大歓声が響き渡りました。小手を押さえられたのか、胸を抜かれたのか覚えていません。ただその時に感じた悲しさと悔しさは今でも忘れることができません。

9月15日（日）は、本校第26回体育大会が開催されます。きっと、生徒全員が全力ですばらしい競技や演技を見せてくれると思います。どうかみなさまの分け隔てのない温かい声援をお願いします。

立神の如く

Change Yourself!

2年1組学級担任・英語担当 新原 真奈美

授業中、子どもたちに、「私は恥ずかしがり屋で、人前で発表することが苦手だ」と伝え、子どもたちは「え～！うそだ！」と答える。しかし、子どものころの私は、本当に引っ込み思案で、なかなか自分の気持ちを表現することが出来ない恥ずかしがり屋の子どもだった。いつも母親の後ろに隠れて、なるべく自分から前に出ないようにしていた。私が英語を好きだったということもあり、父親が外国船で行われる祭りに連れていき、外国人とふれ合うきっかけをつくってくれた。しかし私は一言も、「Hello」すらも話すことが出来なかった。

そんな私を変えてくれたのは、高校の時に参加したホームステイだった。今思えば、全くと言っていいほど英語は話せなかったのに、よく行く決断をしたなと自分でも驚いてしまう。

初めて出会ったホストファミリーは70歳代の老夫婦で、私のことを孫のように扱ってくれた。地域のお祭りに連れて行ってくれたり、一緒に教会に行ったりと毎日私を楽しませようといろいろ考えてくれていた。一方私は、羊羹や紙風船などのThe Nippon的なものを持っていったり、にわかに覚えた天ぷらや肉じゃがなどの日本料理を作ったりして交流した。たった2週間のホームステイだったが、帰りたいと思うほど充実したものだ。それからの自分は以前の自分とは変わって、少しopenな自分になれたような気がした。自分が育ってきたものとは全く違う環境、違う言葉、見た目も性格も違う人々。その中で心を通わすことができたという経験は、今でも私にとって大きな財産だ。

違うことに一歩踏み出してみる、今までとは違う環境に自分を置いてみることは人を大きく変えるチャンスだと身をもって経験できたのではないかと思う。これからも私は様々なことにチャレンジし、いろいろな違う自分を発見していきたい。そしてそのことを子どもたちと共有し、いろいろなことにチャレンジする子どもたちを育てていきたい。

平成31年度全国学力・学習状況調査

— 4月18日実施 3年生対象 —

平均正答率	国 語	数 学	英 語
立神中	74.0	66.0	52.0
県	70.0	57.0	53.0
全 国	72.8	59.8	56.0

正答率の低い学習内容の分析や出題内容、出題傾向の分析も行い、授業改善に取り組んでいます。また、一人一人の学習状況も把握し、きめ細かい指導、支援も行い、これからの時代を生きる子どもたちに必要とされる学力の定着に努めていきます。

ONE SUMMER DAY ～多くの体験活動に参加～

きばらん海 枕崎みなとまつり〔8月3日〕



3回の立神小学校PTAとの合同練習に参加して、総踊りに臨みました。

また、生徒会役員は、ボランティア活動でも参加しました。

夏休みワークショップ「大切な命をつくろう!」〔8月上旬〕



南湊館で行われた“アート作家とアートストリート100基目を製作”というワークショップに、1年生7人が参加しました。

きばらん海 枕崎みなとまつり カッター大会〔8月4日〕



3年生男女、それぞれ1チームが参加しました。中学生の部、男子1位、女子3位でした。

受賞おめでとうございます

○第47回海の子作品コンクール習字の部

日本漁船保険組合鹿児島県支所長賞 1年 松田 一伸
入 選 3年 木村 星空

○第69回南日本書道展 特 選 1年 松田 一伸

○学習奨励賞〔1学期〕

1年 小湊 直緒美 田畑 佑隼 中原 翼 吉川 優羽
2年 石場 きらら 楠 竜弥 小湊 瑠奈
3年 長野 義士 篠原 稜瑛 米崎 媛恋

○学校功労賞〔1学期〕

1年 中原 翼 佛淵 壮志 山神 彩音
2年 池上 元 板敷 風哉
3年 中原 凜香 上園 優翔 小湊 洵哉

【10月の主な教育活動】

2日(水) 生徒会立会演説会	18日(金) 南薩地区専門高校フェスタ
3日(木) 地区駅伝大会	19日(土) PTA空ビン回収
4日(金) 青パト研修会	20日(日) 市制施行70周年記念事業
5日(土) テスト前部活動中止(～8日)	第51回市民運動会
6日(日) おやじの会掲示板作り	21日(月) 朝の声かけ(2-1)
7日(月) 朝の声かけ(3-2)	22日(火) 即位礼正殿の儀(祝日)
8日(火) 中間テスト(～9日)	23日(水) 弁当の日
9日(水) SC(午後)	25日(金) 朝の声かけ(2-1)
11日(金) 朝の声かけ(3-2)	26日(土) 九州PTA福岡大会(～27日)
12日(土) チャレンジタイム	29日(火) がん教育研究授業
15日(火) 地区中体連新人大会(～18日)	30日(水) SC(午前)
先輩講話 青パトの日	県学校保健・安全・歯科講習会(金峰)